

別紙 加点項目審査の評価基準

評価項目	評価の視点	配点
1. 事業計画の提案に対する事項		6
(1) 本事業への基本的な考え方		4
① 事業の目的の考え方	・本事業の目的や、学校環境を取り巻く環境の変化、事業対象地の地域性を踏まえた計画の提案	(2)
② 業務推進体制	・設計・施工一括発注となる本事業の特性を踏まえ、各社等の役割・責任分担、本市や当該学校への連絡・協力体制など、適切な業務推進体制の提案 ・学校建築を熟知し、設計、改修・工事監理を通じて、主体的に業務を統括管理する技術者の配置提案	(2)
(2) リスク管理		2
① リスク管理方針と対策	・本事業におけるリスクの認識とそのリスクに対する効果的な対応策の提案	(1)
② 事業継続の方策	・バックアップ体制や、本事業の継続性に資するセルフモニタリング等の提案	(1)
2. 設計業務の提案に関する事項		41
(1) 計画の考え方		27
① 耐用年数・維持管理計画	・築後 80 年の長寿命化が可能な計画の提案 ・長寿命化において配慮すべき性能を設計・工事段階で確認し、コストと関連付けを行いながら、最適な整備レベルを設定し、今後の維持管理の提案	(3)
② 配置計画	・利便性を考慮し、類似する機能を有する諸室を集積した計画の提案 ・利用・管理区分やセキュリティに配慮しつつ、施設の多目的化・稼働率の向上についての提案 ・効率的なメンテナンス、ランニングコストの抑制、管理・運営のしやすさ等の維持管理・運営に配慮した提案 ・登下校、車両動線、給食コンテナ室への食材等の搬出入等に配慮した上で、歩車分離を明確にし、安全性を確保した配置の提案 ・利用者の導線に配慮したエレベーター設置箇所の提案 ・多様な学習内容、学習形態に対応した、高機能かつ多機能な学習環境を整備するよう努めた提案、また、将来の生徒等の人数の変動及び教育内容・教育方法等の変化に対応できる柔軟性を持たせる等の工夫の提案 ・合理的な耐久性と将来の更新や変化に配慮したゆとりとフレキシビリティを確保することで施設の長寿命化の提案 ・仮設校舎配置によるグラウンド、駐車場及び生徒、教職員の利便性の提案	(7)
③ ゾーニング・諸室配置		(6)
1) 学校教育ゾーン	・時限間における移動等の動線及びその周囲の環境を十分に考慮した諸室配置の提案 ・校舎棟ごとにトイレを適切に配置し、洋便器化の提案	②
2) 管理ゾーン	・良好な執務環境の確保や作業効率の向上を目指し、コンパクトな動線計画の提案 ・自然光を十分に取り入れた執務環境の実現、遮音性が高い快適な執務空間の創出、ゆとりのある作業スペースの確保に留意して計画の提案 ・外部からの侵入者を監視する業務を担うことも考慮し、職員室からの死角をできる限り少なくする提案 ・学校施設の管理、来客対応等も考慮しながら、学校教育ゾーンとの適切な位置関係の提案 ・個人情報保護及びコンピュータ等の情報セキュリティ管理の観点から、管理ゾーン内に明確なセキュリティラインを定め、適切なゾーニング計画の提案	②
3) 諸室配慮事項	・中庭等の外部空間に面する部分は、窓のガラス破損や生徒の転落防止等の安全対策を十分に考慮した上で、湿度対策を講じた計画の提案。 ・エレベーターは、昇降口からアクセスしやすい場所に 1 基配置し、各諸室に車椅子で移動できる計画を提案	②
④ 必要諸室・什器・備品等	・必要諸室リスト以外のその他の諸室を追加、余裕教室等を親和性の高い機能へ転用及び活用方法の提案 ・諸室全体のバランスや共用部分の計画等における創意工夫の提案	(2)
⑤ 仕上計画		(6)
1) 共通	・清掃しやすく維持管理しやすい仕上計画を提案（トイレのドライ化等） ・仕上げ材は、各機能の用途及び利用頻度、並びに各部位の特性を把握した上で適切な組合せを選択し、長寿命かつ信頼性の高い設備や機材の使用に努め、危険な凹凸を避ける等、怪我をしない素材を使用し、特に身体の不自由な利用者等への安全性に配慮し、あわせて外壁劣化調査結果や各種資料の内容を踏まえ、コスト縮減につながる工法、仕様等があれば積極的に採用した提案 ・ライフサイクルコストの低減に配慮し、維持・更新コストの縮減及び改修・修繕費用の平準化を図った提案 ・使用材料は、「学校環境衛生基準」に基づいて、健康等に十分配慮し、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質の削減に努めるとともに、改修工事時における環境汚染防止に配慮した提案 ・LGS 等で壁、柱を付加するなどして、配管を通す空間やスイッチ BOX を埋め込む空間を確保することの提案。	②
2) 外装	・建物の長寿命化に寄与するよう計画を提案 ・屋根には、交換頻度や交換費用を考慮し、耐候性のある材を使用し外断熱型の提案 ・屋根材は上面に向けてシール処理しない等ただちに漏水が発生しないような工法、材料及び全体形状の計画についての提案 ・断熱、日射遮蔽等の省エネルギー対策の観点から、二重サッシ、複層ガラス、ガラスフィルム等の導入の提案。	②
3) 内装	・壁の仕上げ材は、生徒等の蹴破り等に耐えられる設計の提案 ・消火器等は壁面収納とするなど、突起物がないよう計画の提案 ・可動間仕切りは、収納が容易（収納時は壁面に納める等、目立たぬよう工夫）で、たわみやゆりみ等の変形が生じにくく、かつ、防音性や耐久性に配慮した提案 ・事業費の抑制に配慮しながら、大分県産材を採用する計画の提案。	②
⑥ 動線計画・セキュリティ計画	・改修工事では、歩車分離に配慮した動線計画を提案	(1)
⑦ ユニバーサルデザイン	・本施設（屋内及び外構・敷地へのすべてのアプローチを含む。）を安全・安心かつ快適に利用でき、あわせて空間と調和したサイン計画の提案（ユニバーサルデザイン） ・昇降口、グラウンド出入口、来客・教職員用玄関等には外部スロープを設け、車椅子に対応できるようバリアフリー対策とし、屋内及び外構・敷地へのすべてのアプローチは、バリアフリー対応とし、主要な部分は、美観に優れた排水性のよい仕上げの提案	(2)
(2) 周辺環境・地球環境への配慮		3
① 周辺環境への配慮	・建物は、自然採光や自然換気に配慮した提案 ・周辺の住宅等に配慮して、改修工事中也含めて、周辺への騒音や振動、臭気による影響を最大限抑制する計画の提案	(2)
② 環境保全・環境負荷低減	・環境への負荷の少ない設備等の導入を検討するとともに、エネルギーの供給には、省エネルギー性、環境保全性、経済性に配慮したシステムを採用する他、二酸化炭素の吸収源やヒートアイランド現象抑制の観点から、対策の提案	(1)
(3) 構造計画の考え方		2
① 施設の建築非構造部材の耐震安全性の分類	・非構造部材の耐震安全性分類は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部）」の B 類の提案	(1)
② 建築設備の耐震安全性の分類	・設備の耐震対策は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部）」の乙類の提案	(1)
(4) 設備計画の考え方	・設備機器の更新性・メンテナンス性を考慮した計画の提案 ・省エネルギー・省資源を考慮するとともに、ランニングコストを抑えた設備の提案 ・故障時、本施設の運営への影響が最小限となる提案 ・各種機器の集中管理パネルを設置するなど一括管理の提案	4
(5) 周辺インフラとの接続	・上水道（給水本管）の接続に関する提案 ・下水道の接続に関する提案 ・電力・ガス・電話・通信の引き込み方法等の提案	1
(6) 防災安全計画の考え方		4
① 災害時等の施設安全性の確保	・災害に対する施設の安全性確保に関する提案	(1)
② 避難所利用を想定した施設計画	・避難所利用を想定した動線・諸室・設備計画の提案	(1)
③ 平時の施設安全性の確保	・衝突安全性、落下防止等への配慮の提案	(1)
④ 保安警備の充実	・日中の不審者対策や夜間等における不法侵入を防止する等、保安管理に留意した計画の提案	(1)

評価項目	評価の視点	配点
3. 改修・工事監理業務の提案に関する事項		10
(1) 改修工事業務全般		8
①スケジュール	・具体的かつ確かなスケジュール計画（アスベスト対策による工程追加見込等） ・事業スケジュールの工程管理における具体的な提案	(6)
②工事期間中の安全性や周辺住民等への配慮	・改修工事期間中に苦情を出さないための対応や生じた苦情への対応の提案 ・工事中の安全性を確保するための効果的な提案	(2)
(2) 工事監理業務全般		2
4. 入札参加者独自の提案に関する事項		3
(1) 地域社会への貢献	・設計・改修時の生徒や職員、地域住民等の参画方法に関する具体的かつ効果的なアイデアなど、地域社会への貢献の提案	1
(2) 事業者独自のノウハウやアイデア	・事業者独自のノウハウやアイデアに基づく提案	2
合 計		60